

高齢者が参加しやすい 新たな交流領域

～eスポーツ・インクルーシブスポーツ～

にぎわいスポーツ文化局 にぎわい創出戦略部・スポーツ振興部

令和8年9月29日（火）

Agenda

- 1 eスポーツ
- 2 インクルーシブスポーツ

1 eスポーツ

- 1 eスポーツとは
- 2 eスポーツの特長
- 3 にぎわいスポーツ文化局のeスポーツの取組
- 4 地域のeスポーツ活動を支援する取組
- 5 高齢者を対象としたeスポーツ体験会の開催
- 6 今後の方向性

1 eスポーツとは

eスポーツ

=エレクトロニック スポーツ

- 広義には電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、**コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った**

対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

日本eスポーツ協会（JESU）の定義



2人以上で競争してプレイするのがeスポーツ

⇔ 1人で行うのはゲーム

- 2024年の国内のeスポーツ競技人口は推計419万人
ファン数も約967万人と拡大を継続

日本eスポーツ白書2025より



大規模な集客力も持っており、にぎわい創出にも寄与する。

2 eスポーツの特長

eスポーツ

… 様々な「違い」を越えて、誰もがプレイ可能。

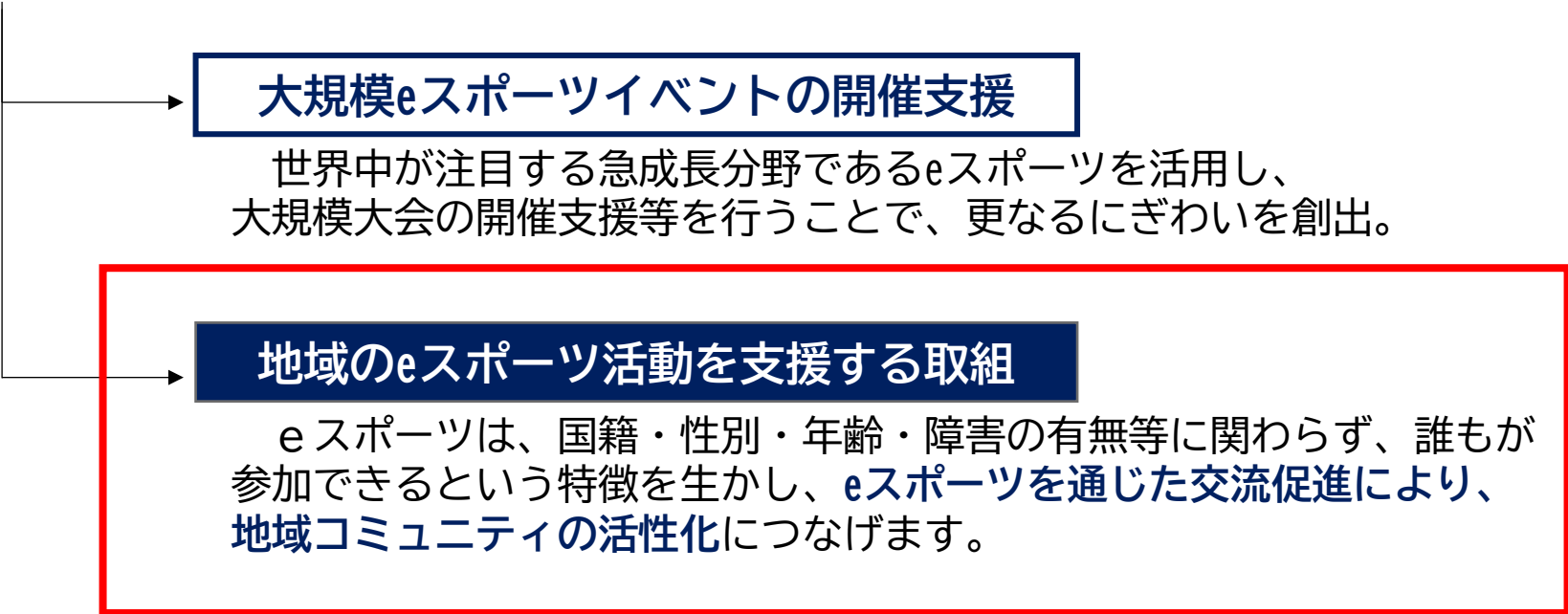
- **言語** … 言語の違いがプレイ上では問われない。
- **国籍** … 居住地域を問わず、オンライン上で好きな時間に世界中と繋がることできる。
- **年齢** … 例) こどもでもドライビングゲームに参加できる。
- **性別** … 例) 男女で種目の違うスポーツにeスポーツ上では参加できる。
- **障害** … 例) 歩行困難でもeスポーツ上でサッカーの試合に出場できる。



その他、**性格、主義、社会的地位、貧富、宗教**など、人をカテゴライズする全てのものを越えて※、**誰もが同じゲームタイトルでプレイできる。**

3 にぎわいスポーツ文化局のeスポーツの取組

- 令和5年度より、にぎわい創出の観点から、にぎわいスポーツ文化局がeスポーツを所管。



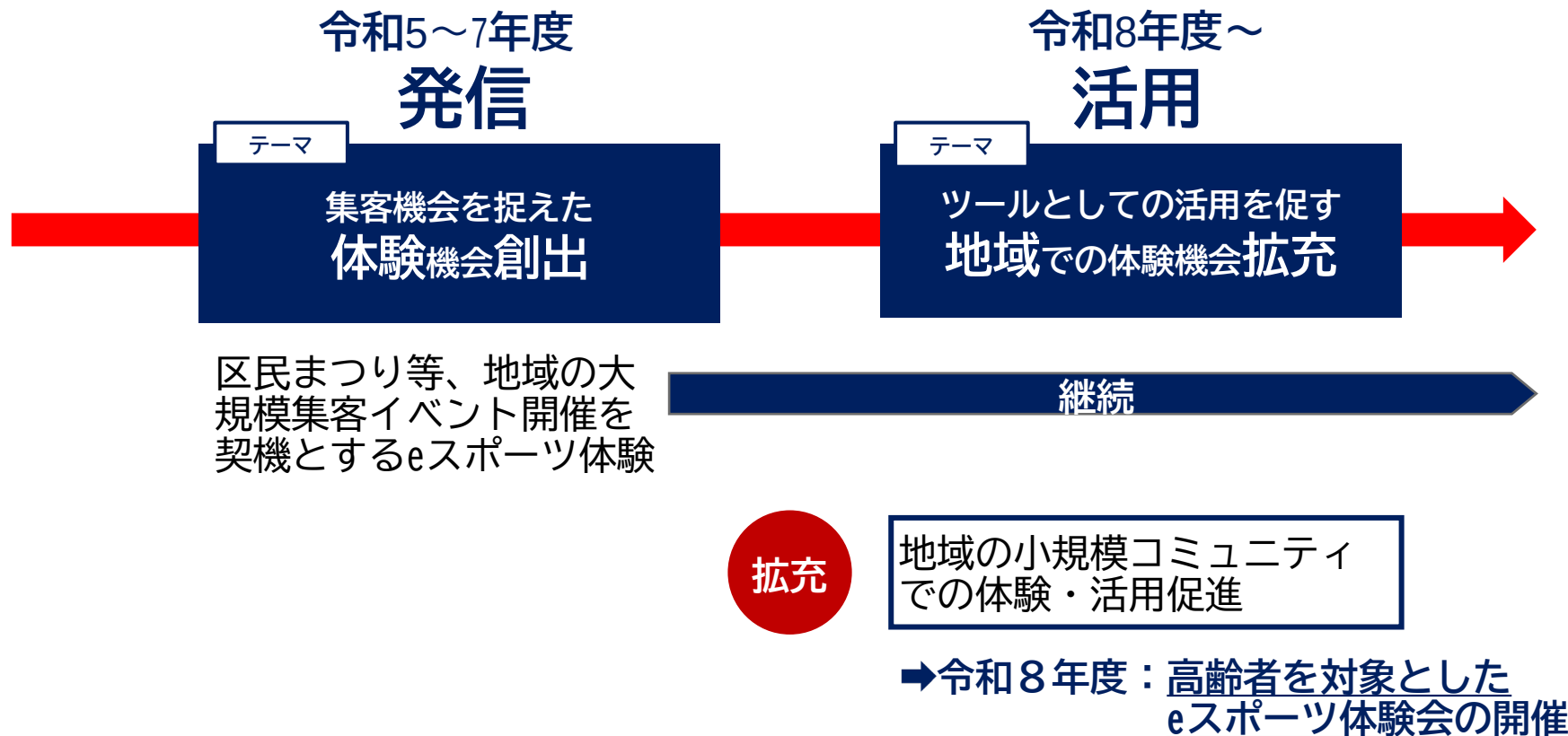
大規模eスポーツイベントの開催支援

世界中が注目する急成長分野であるeスポーツを活用し、大規模大会の開催支援等を行うことで、更なるにぎわいを創出。

地域のeスポーツ活動を支援する取組

eスポーツは、国籍・性別・年齢・障害の有無等に関わらず、誰もが参加できるという特徴を生かし、**eスポーツを通じた交流促進により、地域コミュニティの活性化**につなげます。

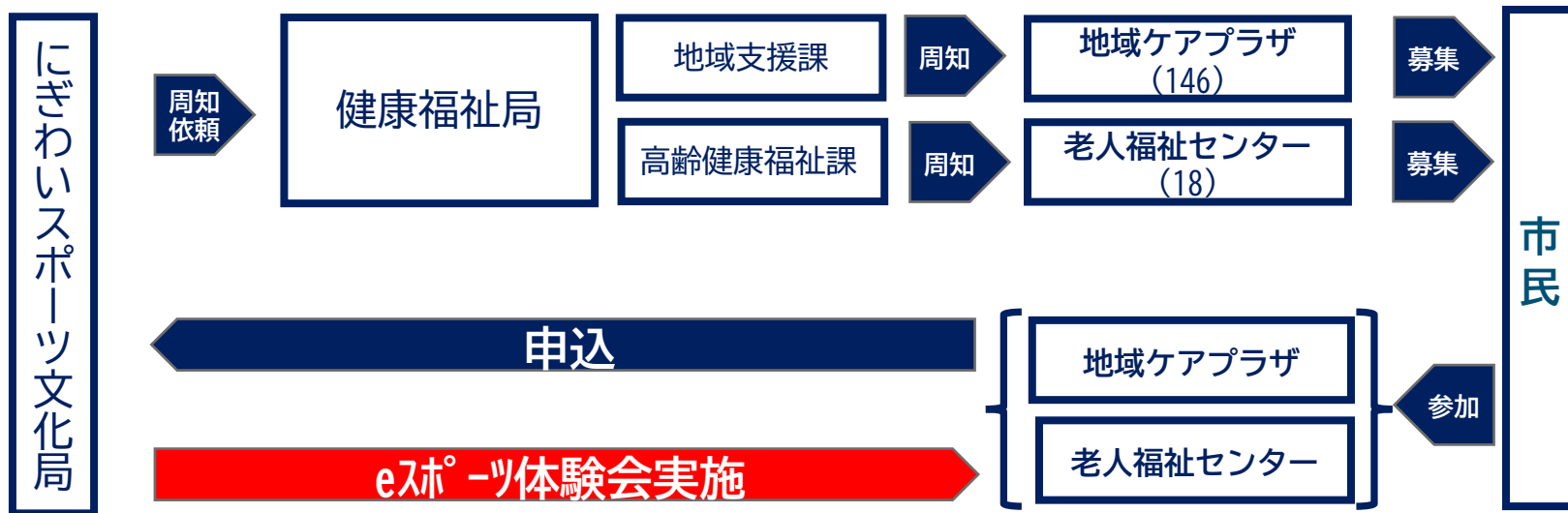
4 地域のeスポーツ活動を支援する取組



5 高齢者を対象としたeスポーツ体験会の開催

(1) 開催までの流れ

高齢者の利用が多い地域ケアプラザや老人福祉センターを対象として、健康福祉局と連携しながら参加を呼び掛けています。



5 高齢者を対象としたeスポーツ体験会の開催

(2) 体験会の様子



1

【アイスブレイク】

eスポーツって
ご存知ですか？



2

【準備体操】

eスポーツでも
準備運動が大事！



3

【太鼓リズムゲーム
基本説明】

リズムにあわせて
叩きましょう！

【プレイ】

簡単モードなら
ゆっくりできる！



4

【ボウリングゲーム
基本説明】

キャラに合わせて
手を振りますよ。

【プレイ】

昔やってたから
懐かしい！

5 高齢者を対象としたeスポーツ体験会の開催

(2) 体験会の様子



[インストラクター
による盛り上げ]

すごい！
ストライク!!



[参加者がプレイする
仲間を応援]

がんばれ！
いいプレイ！



やりかたが
分ければ
もう自分で
できるわ！



また
参加したい から、
施設でやって欲しい！



5 高齢者を対象としたeスポーツ体験会の開催

(3) アンケート結果

アンケート概要

実施対象：高齢者を対象としたeスポーツ体験会参加者 20名（うち11名回答）

実施日時：9月8日（火）14:00～16:00

実施場所：横浜市菅田地域ケアプラザ

調査方法：対面にて聞き取り

性年代

(N=11)

1	80代	女性	64%
2	80代	男性	27%
3	70代	女性	9%

お住まい

(N=11)

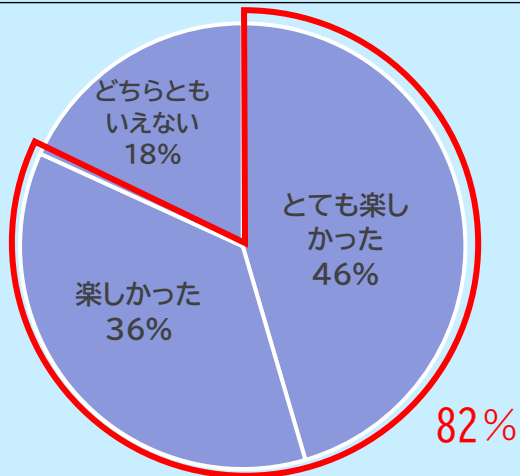
1	実施施設と同じ区	82%
2	その他横浜市内	18%

5 高齢者を対象としたeスポーツ体験会の開催

(3) アンケート結果

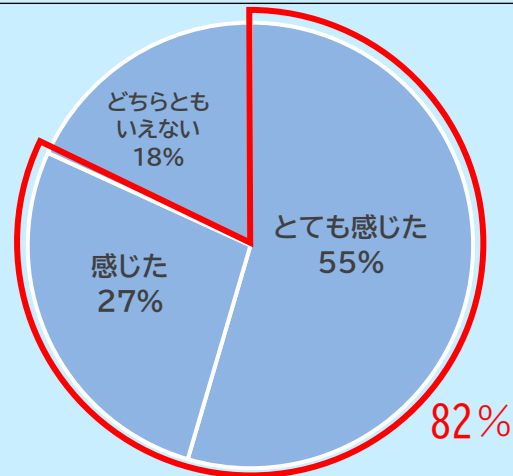
Q1 今日の体験会は楽しかったですか。

(N=11)



Q2 この体験会で、他の参加者と交流できたと感じましたか
(会話できた・一緒に応援したなど)。

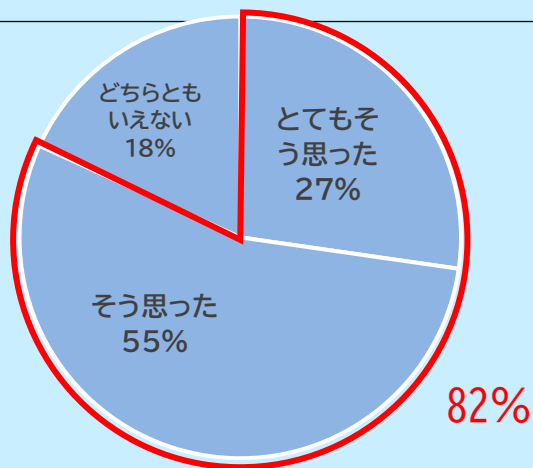
(N=11)



5 高齢者を対象としたeスポーツ体験会の開催

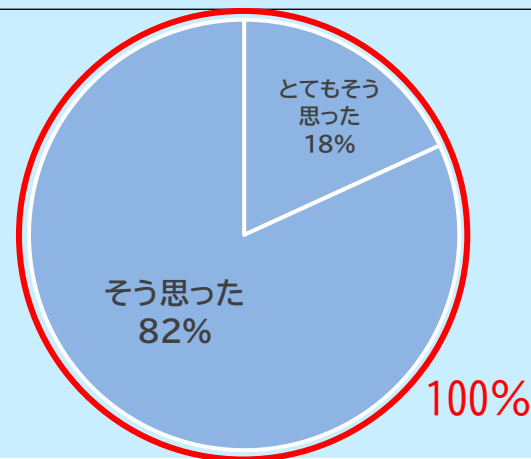
(3) アンケート結果

Q3 eスポーツは健康づくりのきっかけになると思いましたか。 (N=11)



Q4 eスポーツは家族や友人、地域の方々とのコミュニケーションのきっかけになると思いましたか。
(会話できた・一緒に応援したなど)。

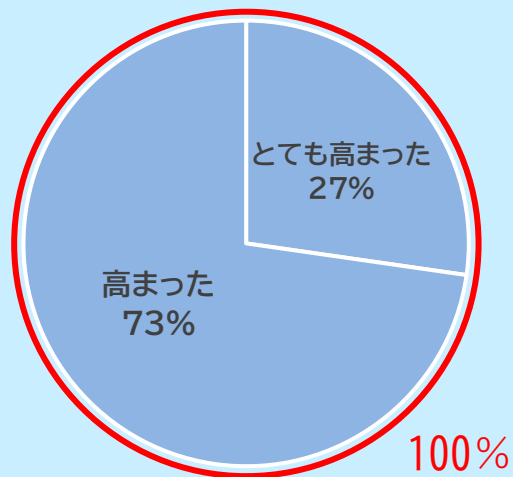
(N=11)



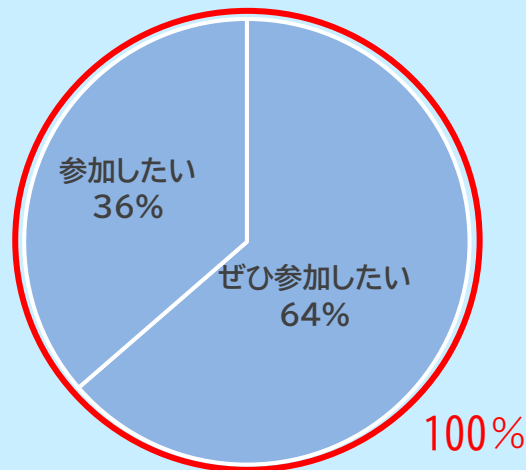
5 高齢者を対象としたeスポーツ体験会の開催

(3) アンケート結果

Q5 eスポーツに対する興味や関心は高まりましたか。 (N=11)



Q6 このようなeスポーツ体験会があれば、また参加したいと思いますか。 (N=11)



5 高齢者を対象としたeスポーツ体験会の開催

(3) アンケート結果

【参加者の声】

- 盛り上がってよかった。テレビ体操よりも皆さんと一緒にできてよかった。
(80代女性)
- 初日1回なので難しかった。またやりたいです。(80代男性)
- 見ても楽しい。やっても楽しかった。(80代男性)

【施設の声】

- 施設の利用者だけでなく、スタッフも一緒に楽しめるので、またやりたい。
- 機器の設置や盛り上げの方法が参考になった。
- 高齢者が孫と一緒に遊べるツールになるといいと思う。
- ボウリング場に行かなくても、無理なく身体を動かせるのが良い。

5 高齢者を対象としたeスポーツ体験会の開催

(4) アンケート等から見えるeスポーツの可能性

【 アンケート結果 】

- Q2：他の参加者と交流できたと感じた (82%)
- Q4：家族や友人、地域の方々とのコミュニケーションのきっかけになると思った (100%)
- Q6：また参加したいと思った (100%)
- Q3：健康づくりのきっかけになると思った (82%)

【 施設の声 】

- 施設の利用者だけでなく、スタッフも一緒に楽しめるので、またやりたい
- 機器の設置や盛り上げの方法が参考になった
- 高齢者が孫と一緒に遊べるツールになると思う
- 無理なく身体を動かせるのが良い

地域での仲間とのコミュニケーションツールとなる
健康づくりにつながる

eスポーツは、地域のコミュニティ活性化など、課題解決につながる！

5 高齢者を対象としたeスポーツ体験会の開催

(5) 令和8年度の予定

- 各施設から多数の申し込みをいただいております、受付継続中です。
- 現在の申し込み状況は以下の表のとおりです。

No.	日程	施設名	区	No.	日程	施設名	区
1	9/8	菅田地域ケアプラザ	神奈川	8	1/25	青葉台地域ケアプラザ	青葉
2	10/29	東本郷地域ケアプラザ	緑	9	1/28	樽町地域ケアプラザ	港北
3	11/16	いずみ中央地域ケアプラザ	泉	10	2/1	都田地域ケアプラザ	都筑
4	12/11	横浜市磯子センター	磯子	11	2/15	桂台地域ケアプラザ	栄
5	12/15	高田地域ケアプラザ	港北	12	1/26	上矢部地域ケアプラザ	戸塚
6	1/15	寺尾地域ケアプラザ	鶴見	13	2/8	もえぎ野地域ケアプラザ	青葉
7	1/19	日野南地域ケアプラザ	港南	14	2/25	ぱれっと旭	旭

6 今後の方向性

- 引き続き、地域での普及促進に取り組んでまいります。
- eスポーツは、様々な地域の課題解決のツールとして有効と考えます。
そのため、関係部局にも活用してもらえよう、働きかけてまいります。

にぎわいスポーツ文化局

課題を持つ区局

STEP1

eスポーツを
知ってもらおう！

STEP2

eスポーツを
ツールにして
もらおう！

STEP3

課題解決

Agenda

① eスポーツ

② インクルーシブスポーツ

2 インクルーシブスポーツ

- 1 インクルーシブスポーツの特長
- 2 インクルーシブスポーツの高齢者の社会参加に対する有効性
- 3 実例紹介～インクルーシブスポーツの取組～
- 4 インクルーシブスポーツに関する意識調査
- 5 今後のインクルーシブスポーツの推進

1 インクルーシブスポーツの特長

- ・eスポーツ同様、こどもから大人まで世代を問わない、また、性別や障害の有無、国籍等に関わらず、誰もが参加可能なスポーツ。
- ・家族、学校、企業、地域住民が参加しやすく、地域コミュニティの形成に有効。

【インクルーシブスポーツの例】

○ボッチャ



ボッチャの様子

○モルック



モルックの様子

○ピックルボール



ピックルボールの様子

2 インクルーシブスポーツの高齢者の社会参加に対する有効性

1 身体機能の維持・認知機能への寄与

インクルーシブスポーツにおける身体的な動作や状況判断、記憶能力を継続的に使用する活動により、身体機能や認知機能の維持、フレイル予防につながることを期待されています。

2 高齢者の社会参加の促進と孤立防止

インクルーシブスポーツへの参加は、高齢者が外出し、地域住民と交流するきっかけとなります。こうした交流を通じて社会参加への意欲が高まり、町内会活動やボランティア活動、地域施設の利用など、継続的な地域との関わりにつながることを期待されます。

また、年齢や身体能力の違いを超えて誰もが一緒に楽しめることから、世代間交流を促進し、人とのつながりを自然に生み出すことで、高齢者の孤立防止や心身の健康維持にも有効です。

3 事例紹介① ～インクルーシブスポーツの取組～

◆地域におけるインクルーシブスポーツの取組

《18区におけるインクルーシブスポーツ体験会》

- ・市内18区の身近な場所で誰でも楽しめるインクルーシブなスポーツの機会を、市スポーツ協会と連携しながら提供しています。
- ・種目は、より多くの方が参加できるように、ルールが分かりやすくシンプルな種目を中心に「ボッチャ」や「モルック」をはじめ多様な種目を、障害者作業所や各区地域ケアプラザ、コミュニティハウス、スポーツセンター等で実施しています。



障害者作業所での取組の様子

3 実例紹介① ～インクルーシブスポーツの取組～

◆地域におけるインクルーシブスポーツの取組

《さわやかスポーツの普及》

- ・市スポーツ協会と連携し、各区の状況に合わせて地域の大会や体験会等の開催、指導者の派遣、用具の貸出などを行っています。種目はペタンクやグラウンドゴルフなど「いつでも・どこでも・だれにでも」楽しめる種目を展開しています。

《スポーツ推進委員による取組》

- ・スポーツ推進委員が地域の人たちと連携・協力しながら、地域に根ざしたスポーツやレクリエーションの企画・立案・実施並びに普及活動など、地域の多様化に即した事業を展開しています。



中区スポーツ推進委員等の取組
(中区ソフトバレーボール大会)

3 実例紹介② ～インクルーシブスポーツの取組～

◆YOKOHAMAスポーツ・レクリエーションフェスティバル

スポーツの日を中心とした9月から11月の期間に、横浜市全域で広く市民が気軽に参加できるスポーツイベントや体験教室を開催し、年齢や障害の有無などにかかわらず、誰もが共にスポーツに親しむ機会を創出します。今年度も親子で参加できる様々なスポーツ体験会や、高齢者も気軽に参加しやすいピックルボール体験会などを実施します。これらの活動を通じて、初めてスポーツに触れる機会の提供やインクルーシブスポーツへの理解促進を図るとともに、世代を超えた交流の場づくりにつなげています。

令和8年度は10月12日(月・祝)に新横浜公園で中央イベントを開催（令和7年度参加者数:29,844人）



モルック体験



ボッチャ交流大会



ピックルボール体験会

3 事例紹介③ ～インクルーシブスポーツの取組～

◆あすチャレ！ジュニアアカデミー（パラアスリートによる学校訪問）

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」の開催を契機に、スポーツ振興や共生社会の実現を目的として、パラアスリートによる小・中学校への訪問を実施しています。児童生徒がパラアスリートを中心とした障害当事者講師から、講演を“聞く”だけでなく、“体験する”“考える”をプラスした「共生社会を学ぶワークショップ型授業」を提供しています。

令和8年度 100校で実施予定 （令和7年度実績 77校）



3 実例紹介③ ～インクルーシブスポーツの取組～

◆インクルーシブスポーツ体験会（競技団体による学校訪問）

パラスポーツの普及・啓発に取り組むさまざまな団体と連携し、インクルーシブスポーツを通じたスポーツ振興と共生社会の実現を目的とした体験型プログラムを実施しています。プログラムでは、「ブラインドサッカー」「車いすバスケットボール」「ボッチャ」などの体験機会を提供し、参加者が互いの理解を深められる場を創出しています。これらの取組を通じて、多様な人々が交流し、支え合う共生社会の推進につなげています。

令和8年度 19校で実施予定 （令和7年度実績 23校）



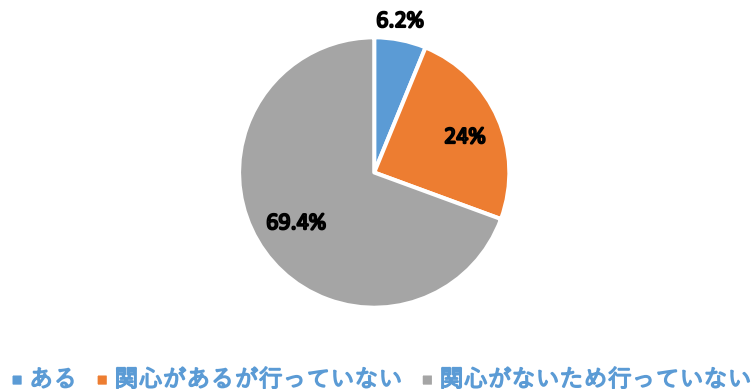
4 インクルーシブスポーツに関する意識調査

以下の2つのグラフは「横浜市民スポーツ意識調査（令和7年度実施）」における、インクルーシブスポーツに関する意識調査の状況です。

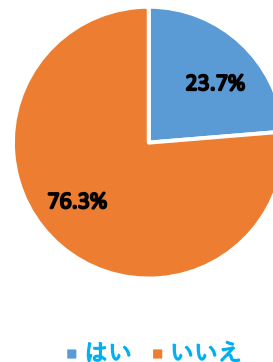
【意識調査の概要】

- ◆調査対象者：横浜市に居住する満18歳以上の調査機関登録者男女 1,997人
- ◆調査方法：インターネットによるアンケート調査
- ◆調査期間：令和7年9月16日～10月7日（火）

インクルーシブスポーツを行ったことがあるか



今後、インクルーシブスポーツを行ってみたいか



現状では「インクルーシブスポーツ」が浸透しているとは言えない状況であり、その普及のため、引き続き取り組んでいく必要があると考えています。

5 今後のインクルーシブスポーツの推進に向けて

- ・年齢を問わず参加しやすい取組を推進することで、高齢者の健康維持・増進に寄与していきます。
- ・市スポーツ協会やスポーツ推進委員等と連携・協力しながら、地域におけるインクルーシブスポーツの機会を提供していきます。
- ・「YOKOHAMAスポーツ・レクリエーションフェスティバル」の「スポーツの日イベント」等を通じて、子どもから高齢者まで幅広い世代がスポーツに親しめる機会を創出し、スポーツを通じた世代間交流を促進していきます。
- ・次世代を担う子どもたちにインクルーシブスポーツへの理解促進や意識の醸成を図り、その理念や価値を伝え、共生社会の実現につなげていきます。



CITY OF YOKOHAMA

市民活躍・地域コミュニティ活性化
特別委員会資料
令和8年9月29日
経済局市民経済労働部

市民活躍・地域コミュニティ活性化特別委員会

「人生100年時代における新たな社会参加の在り方」について (横浜市シルバー人材センターの取組)

経済局市民経済労働部



横浜市

横浜市シルバー人材センターの概要



- 「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、国や横浜市の支援により運営している公益法人
- 企業・個人家庭・公共機関等から高齢者に適した臨時的かつ短期的又は、軽易な仕事を引き受け、登録会員へ提供

【団体基本情報】

- (1) 団 体 名： 公益財団法人 横浜市シルバー人材センター
- (2) 所 在 地： 横浜市中区万代町2丁目4番地7 横浜市技能文化会館8階
- (3) 設立年月日： 昭和55年10月1日
- (4) 基本金等： 10,000千円（横浜市出資額 10,000千円（100.0%））
- (5) 目 的： 就業機会の提供を通じた、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進並びに社会参加の推進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与すること

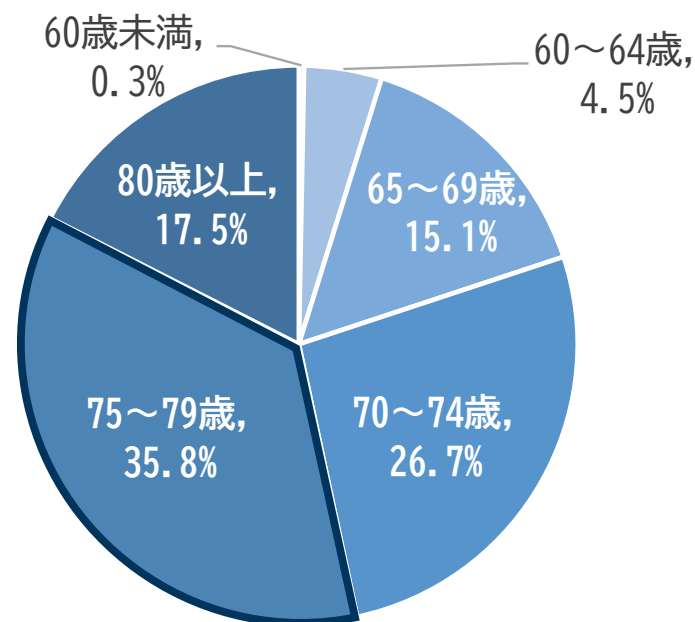
横浜市シルバー人材センター 登録会員（令和8年3月31日時点）

【登録対象】 市内在住のおおむね60歳以上の方

【登録者数】 10,641人

【平均年齢】 74.9歳

年齢階層別の会員割合



横浜市シルバー人材センター 業務受託実績



【令和7年度実績】 契約金額：2,715,712千円 受託件数：43,360件

<内訳表>

業務内容		契約金額（千円）	構成比	受託件数(件)	構成比
一般作業	清掃、除草、スーパー内作業等	1,829,035	67.4%	26,023	60.0%
技 能	植木剪定、小破修繕等	323,363	11.9%	8,332	19.2%
サービス	家事代行、育児支援、高齢者見守り等	188,816	7.0%	6,100	14.1%
施設管理	ビル・マンション・駐車場管理等	181,288	6.7%	1,264	2.9%
渉 外	チラシ、広報物配布等	140,139	5.2%	1,003	2.3%
事務整理	封入、筆耕、文書仕分等	40,604	1.5%	443	1.0%
専門技術	パソコン講師等	12,467	0.5%	195	0.4%

地域を支える担い手としての活躍事例

■ 市立保育所の環境整備

市立保育所における清掃や園庭整備、
玩具の消毒などを実施



■ よこはまシニア社会参加ポイント アプリの登録補助

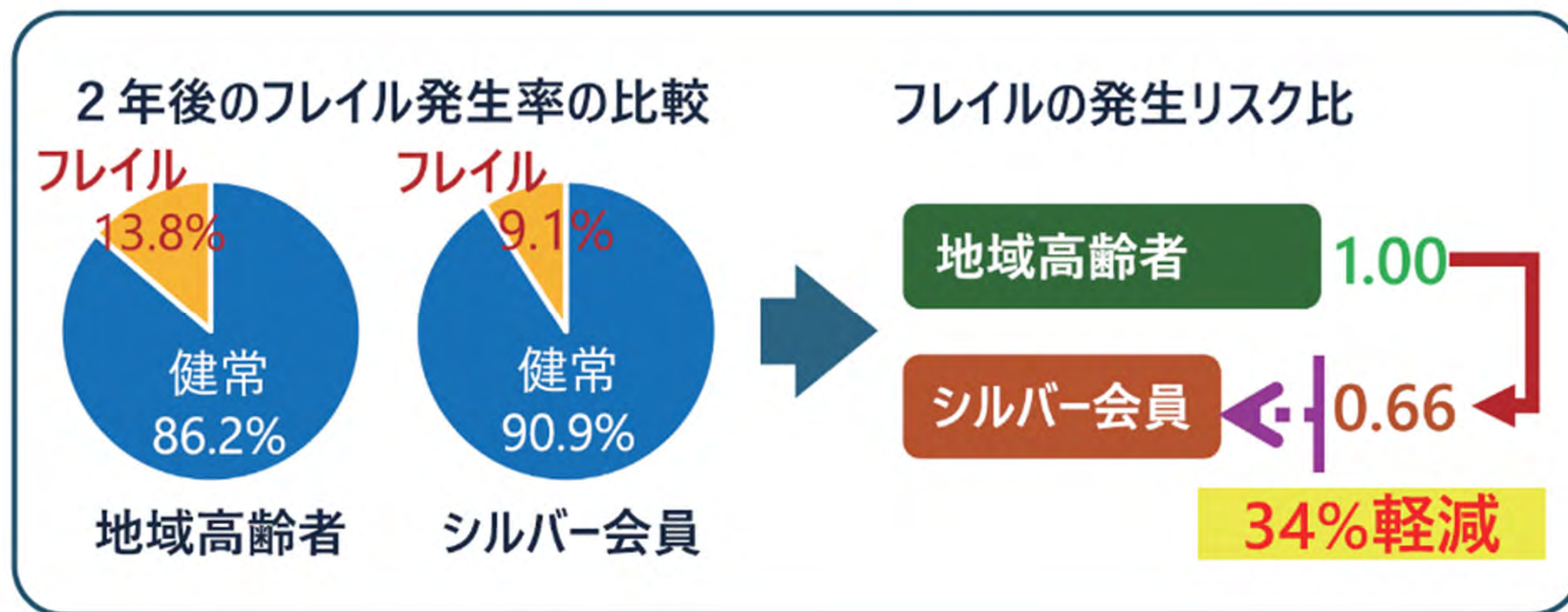
スマートフォンアプリのダウンロード、
初回登録の補助を実施



※いずれも横浜市からの委託を受けて実施

シルバー人材センター×フレイル予防

全国の調査によると、フレイル発生率について、地域高齢者と比べてシルバー人材センター会員のほうが低いことが報告されています。



出典：公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

「シルバー人材センター会員等の介護予防効果に関する調査研究」調査結果（令和8年1月）

—市民活躍・地域コミュニティ活性化特別委員会—

高齢者の社会参加について

健康福祉局 高齢健康福祉部

令和8年9月29日

よこはまポジティブエイジング計画

(第9期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画)

◆ 計画の位置づけ

高齢者に関する保健福祉事業や介護保険制度に関する総合的な計画

◆ 計画期間

令和6（2024）年度から令和8（2026）年度まで

◆ 施策の方向性（いきいきと暮らせる地域づくりを目指して）

○地域との協働を基盤に、介護予防・健康づくり、社会参加、生活支援を一体的に進めることで、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、つながり・支え合う地域づくりを進めます。

○高齢者になる前からの、健康維持や地域活動等の社会参加の機会を充実します。

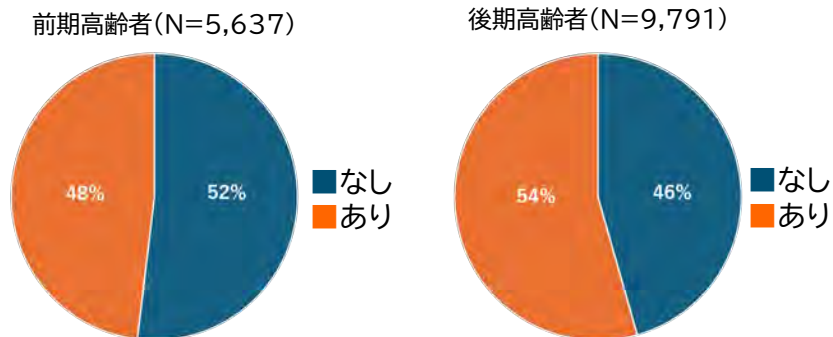
- ◆ 高齢者がこれまでに培った知識・経験を生かし「地域を支える担い手」として活躍できる環境の整備を進め「活力のある地域」を目指します。
- ◆ また、社会参加を通じて、介護予防・健康づくりにつながる仕組みづくりを推進します。

主な事業名	内容
高齢者社会参加ポイント事業	高齢者が通いの場等に参加した際に、スマートフォンアプリを通じてポイントを付与することで、社会参加の促進を図ります。
「シニア×生きがいマッチング」事業	高齢者の希望や特性を把握し、地域の企業・団体等の活動（ボランティア）とのマッチングを行います。

社会参加の効果 (横浜市健康とくらしの調査 (2025) 結果より)

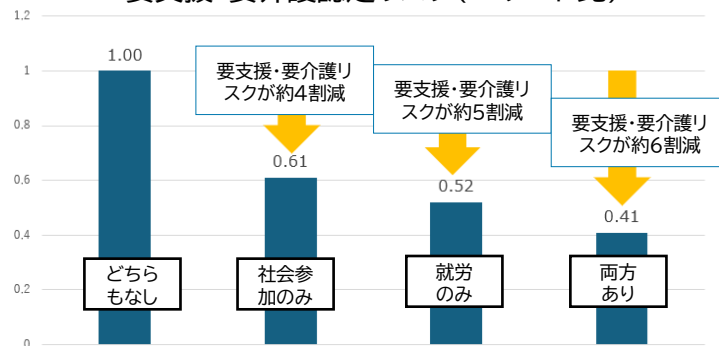
地域活動参加の推進(前期高齢者へのアプローチ) ※出典:健康とくらしの調査 横浜市調査結果

高齢者の地域活動参加状況



※地域活動参加あり: ボランティア、スポーツ活動、趣味関係の活動、老人クラブ、町内会・自治会、学習・教養サークル、介護予防のための通いの場、特技・経験伝達活動、こども食堂のうちいずれかに月1回以上参加している者

前期高齢者の社会参加及び就労状況別
要支援・要介護認定リスク(ハザード比)



- ※1 性別、年齢、婚姻状況、教育、所得、慢性疾患で調整
- ※2 社会参加あり: ボランティア、スポーツ活動、趣味関係の活動、老人クラブ、町内会・自治会、学習・教養サークル、介護予防のための通いの場、特技・経験伝達活動、こども食堂のうちいずれかに月1回以上参加している者
- ※3 就労あり: 常勤、非常勤、自営業のいずれかの就労状況である者

▶介護予防には、就労に加え、就労以外の「社会参加」も有効と考えられる

関連事業について

～高齢者社会参加ポイント事業～

「よこはまシニア社会参加ポイントアプリ」

- ◆ 通いの場※等への参加者に対し、電子マネー（年間最大5000円相当）に交換可能なポイントを付与する「高齢者社会参加ポイント事業」を実施し、高齢者の社会参加を促進します。

※通いの場：地域で介護予防・健康づくりに取り組むグループ活動など
（例：体操、筋トレ、ウォーキングなど）

- ◆ 社会参加状況や参加者の健康状態等のデータを収集し、医療、介護、保健データと掛け合わせた多面的な分析を行い、介護予防施策へと反映します。

※令和6年度：アプリ構築、リリース、令和7年度：モデル実施、令和8年度：全市展開

【令和8年8月末時点の実績】

・参加登録者数：**652人**

「よこはまシニア社会参加ポイントアプリ」の 参加促進の取組

◆ 登録説明会

アプリの登録説明会を開催し、スマートフォンの操作が苦手な高齢者でも、希望する全ての方が登録・利用できるよう、丁寧に操作支援を行っています。



【登録説明会】



【アプリ】

「よこはまシニア社会参加ポイントアプリ」の 参加促進の取組

◆ 活動先の拡充

令和8年度中に、市内の元気づくりステーション（介護予防自主活動グループ）、スポーツセンター、及び老人福祉センターを活動先として設定します。

アプリ上で自宅から徒歩で行ける活動先を見つけられることで、高齢者の社会参加の促進が期待されます。



【元気づくりステーション】

関連事業について

～「シニア×生きがいマッチング」事業～

「シニア×生きがいマッチング」

高齢者の希望や特性を把握し、企業・団体の活動とマッチングします（活動は、有償・無償のボランティア）。

また、希望する活動が既にほかのシルバー人材センターやボランティアセンターなどである場合は、活動につながるよう、調整を行います。

※令和5～8年度にモデル実施 R5：2区（西、金沢）、R6：3区（西、金沢、都筑）、
R7・8：7区（西、金沢、都筑、中、港南、青葉、戸塚）



【令和7年度の実績】

・基礎講座参加人数：112人 ・マッチング数：51人

「シニア×生きがいマッチング」の取組

- ◆ 年に1回、高齢者に向けて本事業のキックオフイベントを開催します。
その後、基礎講座で活動に向けた学びや自身がこれまで得た知識や経験、今後取り組みたい内容について棚卸しを行います。
- ◆ 基礎講座を受講した人を対象に、個人と企業等とのマッチング、複数人をチームにして企業等の課題を解決するチームチャレンジを行います。



【キックオフイベント】



【基礎講座】



【チームチャレンジ】



【コミュニティカフェの訪問】

「シニア×生きがいマッチング」令和7年度マッチング実績

【個人でのマッチング】

活動内容	人数
団体等の運営・事務ボランティア	17名
イベントボランティア	14名
福祉系ボランティア	3名
学習系ボランティア	1名

※ 主な活動先：NPO法人、株式会社、市民活動支援センター等

「シニア×生きがいマッチング」令和7年度マッチング実績

【チームチャレンジ】

活動先の団体等名称	活動内容	人数
男女共同参画センター 横浜北	あなたの経験が力になる！ 男性のためのアンガーマネジメント講座	4名
NPO法人スペースナナ	フードドライブの活動周知と食の助け合い の循環	3名
株式会社神奈川新聞社	現役世代までを対象にした、誰もが自分 らしく生きるための終活事業のニーズ把握	4名
株式会社パパカンパニー	「世界チャンピオン/日本代表選手と体験し よう！」イベント協賛営業サポート	3名
認定NPO法人地球学校	学習教材「もぐらんワーク」の教材整備・ 新規作成	2名

元気づくりステーションに参加するとポイントが貯められて嬉しい。

これがきっかけで、スポーツセンターでの活動を始めた。

社会参加ポイントアプリ

じぶんでは登録できないから、サポートをしてくれて助かった。

健康アプリはいろいろあるが、これからはこれに統一しようと思う。

学習支援という有意義で素晴らしい取組を行っていることを初めて知り、感銘を受けた。

チームチャレンジに参加し、自分に何ができるのかという、自分を見つめなおす機会が得られて良かった。

シニア×生きがいマッチング

異世代との交流もできて若返った。

自分のリソース（経験、実績、ノウハウなど）の価値の確認と活用方法が見えてきたような気がした。

各会派が実施した行政視察一覧

市民活躍・地域コミュニティ活性化特別委員会
令和 8 年 9 月 2 9 日（火）

視察月日	視察会派	視察先及び視察項目
7 月 6 日 ～ 7 日	公明党	公益財団法人えひめ地域活力創造センター（愛媛県松山市） えひめ地域活力創造センターにおける地域活性化促進事業について
		認定特定非営利活動法人グリーンバレー（徳島県神山町） 創造的過疎による神山町の地域づくりの取組について
8 月 18 日 ～ 19 日	立憲民主党	特定非営利活動法人北海道 N P O サポートセンター（北海道札幌市） 中間支援 N P O としての多主体連携の進め方について
		特定非営利活動法人シーズネット（北海道札幌市） N P O 法人シーズネットにおける高齢者の主体的な社会参加を支える取組について